

辻井伸行×清水和音 三浦文彰&ARKフィルハーモニック 《究極のベートーヴェン》

最高のソリストと三浦文彰率いる
スーパーオーケストラによる
究極のベートーヴェン!



「ベートーヴェン」
エグモント序曲

ピアノ協奏曲 第4番
清水和音 (ピアノ)

ピアノ協奏曲 第5番《皇帝》
辻井伸行 (ピアノ)

※出演者・曲目・曲順等は変更となる場合がございます。

2026

8/8 (土) 14:00 開演 (13:15開場) **柏崎市文化会館アルフォーレ大ホール**

一般発売日

5月29日(金) S席 11,000円/A席 10,000円

【料金】(全席指定・税込)

※未就学児入場不可。
※ご予約・ご購入後のキャンセル・変更はできません。
※車椅子席(11,000円)をご希望の方は
アルフォーレまでお問合せください。

TeNYチケット専用ダイヤル
025-281-8000 (平日10:00~17:30)

柏崎市文化会館アルフォーレ
0257-21-0010 (10:00~18:00
火曜休館・祝日の場合は翌平日)

プレイガイド

- 柏崎市文化会館アルフォーレ
※発売日はWEB・電話10:00~ 窓口13:00~
- チケットぴあ(Pコード:322-847)
- ローソンチケット(Lコード:36015)
- イープラス

アルフォーレ賛助会員優先発売

※アルフォーレのみで取扱い

5月28日(木) [WEB・電話] 10:00~
[アルフォーレ窓口] 13:00~

辻井伸行オフィシャル・エアライン:全日本空輸株式会社 主催:TeNYテレビ新潟 共催:柏崎市文化会館アルフォーレ((公財)かしわざき振興財団)
企画・制作:エイベックス・クラシックス 制作協力:インタースペース

avex classics
international

日本の最高峰ピアニストとしてその評価を不動のものとする清水和音、日本を代表するピアニストとして欧米で大活躍中の辻井伸行。望みうる最高のソリストを迎え、その高い音楽性からヴァイオリニストとしてはもちろん指揮者としても高評価を得る三浦文彰が自ら組織した名手揃いのヴィルトゥオーゾ・オーケストラ「ARKフィルハーモニック」を率いてベートーヴェンの至極の名作を披露する必聴必見のコンサートがやってくる！



2009年ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクールにおいて日本人として初優勝を飾る。以来、世界的なピアニストのひとりとして活躍し、カーネギーホール、イギリス最大の音楽祭「プロムス」に出演し大成功を収めるほか、ベルリン・フィルハーモニー、パリのシャンゼリゼ劇場などの世界の著名なホールで例年コンサートを開催し高い評価と多くの聴衆の支持を得ている。また、ユロフスキ指揮ロンドン・フィル、クラウス・マケラ指揮オスロ・フィルなど、著名オーケストラの日本ツアーのソリストに数多く抜擢されているほか、ロイヤル・フィル、シカゴ響、クリーヴランド管等欧米の一流オーケストラ、音楽祭にもたびたび招かれている。2026年以降もニューヨーク、ロンドン、パリをはじめとする主要都市での公演や世界的オーケストラとの共演が数多く予定されており、日本を代表するピアニストとしてさらなる飛躍が期待されている。また、2024年に名門ドイツ・グラモフォンと日本人ピアニストとして初の専属契約を締結。多くのレコーディングが予定されている。

完璧なまでの高い技巧と美しい弱音、豊かな音楽性を兼ね備えたピアニスト。ジュネーヴ音楽院にて、ルイ・ヒルトブラン氏に師事。1981年、弱冠20歳で、パリのロン＝ティボー国際コンクール・ピアノ部門優勝、あわせてリサイタル賞を受賞した。これまでに、国内外の数々の著名オーケストラ・指揮者と共演。室内楽の分野でも活躍し、共演者から厚い信頼を得ている。これまでにソニーミュージックやオクタヴィア・レコードなどから多数のCDをリリースし、各誌で絶賛されている。2011年には、デビュー30周年を記念して、ラフマニノフのピアノ協奏曲第1番～第4番とバガニーニの主題による狂詩曲の全5曲を一度に演奏。デビュー40周年となった2021年秋には「清水和音 ピアノの祭典」と題し、ソロから室内楽まで4時間を超えるプログラムで大きな存在感を示した。ショパン、ベートーヴェン、ラフマニノフなど幅広いレパートリーを誇り、日本を代表するピアニストとして活躍中。桐朋学園大学・大学院教授。

世界最難関と言われるハノーファー国際コンクールにおいて、史上最年少の16歳で優勝。2018年〈サントリーホール ARKクラシックス〉のアーティストティック・リーダー、24年に宮崎国際音楽祭の音楽監督に就任。ロサンゼルス・フィルはじめ国内外の主要オーケストラと共演。共演した指揮者にドゥダメル、ゲルギエフ、ズカーマン、ロウヴァリ、フルシャなど。名門ロイヤル・フィルのアーティスト・イン・レジデンスも務めた。24年、デビュー15周年を記念してサントリーホールとザ・シンフォニーホールでベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会を3回にわたり行い絶賛を博した。同年イスラエル・フィルの定期公演に出演。25年にはフィルハーモニア管、バンベルク響と共演。指揮活動にも取り組み、アリカンテ響、東京フィル、京響、広響、山響などを指揮する。CDはエイベックスよりリリース。使用楽器は株式会社クリスコ(志村晶代表取締役)から貸与された1732年製ガールネリ・デル・ジェス「カストン」。ウィーン在住。



ARKフィルハーモニック ARK PHILHARMONIC

〈サントリーホール ARKクラシックス〉のレジデント・オーケストラとして2019年に「ARKシンフォニエッタ」の名称で発足。〈サントリーホール ARKクラシックス〉のアーティストティック・リーダーを務める辻井伸行と三浦文彰の呼びかけにより、ソリストとしても活躍するフルートの高木綾子、コンサートマスターや首席奏者として日本のオーケストラ界を牽引する三浦章宏、高橋和貴、松浦奈々、会田莉凡、鈴木康浩などが中心的な役割を担い、国内外のコンクールで優勝を飾った期待の若手奏者らが伸びやかに演奏を繰り広げ、日本最高峰のオーケストラのひとつと賞賛される。編成の拡大に伴い2024年より名称を「ARK PHILHARMONIC」(略称 ARKフィル)に変更し、アーティストティック・ディレクターに三浦文彰が、レジデント・ピアニストに辻井伸行が就任。2024年には三浦文彰指揮によるデビューCD「ブラームス:交響曲第2番、第4番」がエイベックス・クラシックスからリリースされた。